

~2025年5月度~
スポットワークマーケット データレポート



TRI ツナグ働き方研究所
TSUNAGU work style Research Institute

ツナググループのシンクタンクとして、調査・研究を行っています。

ツナグ働き方研究所は、多様な働き方と労働市場基盤整備を目的に変化する労働法制を分析し、企業に役立つ解説と提言を使命とするシンクタンクです。



ツナグ働き方研究所について

ツナググループを母体とする「多様な働き方」の調査研究機関（2015年設立）。研究所では、企業人事や労働法制の分野で活躍する識者らとともに、施行される労働法制の要所と着眼点を解説していくほか、改正に至るまでの経過や背景も記録・分析しながら「あるべき姿」を提言。「働く」を取り巻くあらゆる労働法制の調査・研究機関として「雇用の未来」を拓きます。

ツナググループ・ホールディングス 概要

日本の社会課題である「2030年労働需給GAP解消」を目指す、ソリューションカンパニーであるツナググループは、コンサルティング×RPO(採用代行)×データベースを基軸事業として、従業員1,000名を超える大手企業を中心にあらゆるソリューションを提供しております。



【略歴】ツナグ働き方研究所 所長 大野 博司

労政ジャーナリスト、兼、アドバンスニュース代表取締役（主筆）

厚生労働省の職業安定局、労働基準局などの政策を中心に取材・執筆を行い、また日本外国特派員協会会員の労政ジャーナリストとして、オランダ政府招聘による欧州の労働政策のほか、アメリカ、香港・広州、ベトナムなどを訪問して雇用現場の最前線で取材をこなす。

1970年青森県生まれ。

中央大学大学院戦略経営研究科（MBA）修士。

1994年日本新聞協会加盟の地方紙に入社。

社会部と政経部で教育、スポーツ、核燃料サイクル、水産、港湾物流などを担当し、2004年に報道デスクに就任。

以降、東京支社で国会取材兼論説委員等を担当。韓国、中国、オーストラリアなど海外での取材も担当し、2006年のイタリア・トリノ五輪の現地取材を担当した。

2010年にインターネット報道を主体とする雇用労働の専門媒体・株式会社アドバンスニュース（日本インターネット報道協会加盟）の設立に参画し、現職は代表取締役（主筆）。

アドバンスニュースの職責のほか、日本外国特派員協会会員の労政ジャーナリストとして人事系月刊誌などに執筆・寄稿を行う。



●定期発表レポート

月次労働市場データレポート

月次有効求人倍率速報

スポットワークマーケットレポート

●代表的なセミナー/出版活動

セミナー

『人材サービス事業を後押しする労働法制と業界地図
～派遣法見直しの舞台裏・労政審「同一部会」佳境へ～』

『派遣法2025 人材サービスを巡る「数字」と「法制」
～報道現場から解析する次なる展開と要所～』

出版

『派遣法・抜本改正の爪痕（キロク） 報道現場からの
真実の叫びー淘汰と再編が加速する人材業界』（2016年
アドバンスニュース）

『実務詳解 職業安定法（共著）』（2023年 弘文堂）



スポットワークマーケットを定点観測する意義

○マーケットの定義

スポットワークとは、短時間・単発で働く「継続した雇用関係」のない働き方を指します。その中でも、雇用契約を結ばない“ギグワーク”と、単期雇用契約を結ぶ“単発バイト”の2種類に分類されます。こうしたワークスタイルで働く個人、活用する企業の市場がスポットワークマーケットです。

○マーケットの現状

スポットワーカーは、働き方改革法案の施行、コロナ禍を契機に急増しています。

個人）働き方改革による残業規制、コロナ禍による休業や勤務時間減少は、追加で収入を得たいという働き手を増加させました。

企業）収益確保、生産性向上の観点から、ムダやムラの少ない＝必要な時に必要な数だけ人材を配置する最適化思考が高まりました。

技術）テクノロジーの進化により、タイムリーかつオンデマンドなマッチを提供するスポットワーク求人事業者が増えました。

「短時間・単発で働く」というワークスタイルは、今後さらに広がりを見せていくことが予見されます。

○定点観測する意義

総務省統計局の「労働力調査」では、2018年からILO基準の「未活用労働指標」を導入しました。例えば、その中にある「追加就労希望就業者」は「広義の失業者」とも言われる労働者です。現状の就労に追加して「短時間・単発で働く」ことは、労働者の収入安定、すなわち広義の失業率の改善につながります。一方、マクロ的には、潜在的な労働力活用は国力の向上に寄与することになります。こうした観点からも、スポットワークマーケットを定点観測し、市場規模の動向、有益なトピック、内在する課題などを可視化することには、おおいに社会的意義がある。我々、ツナグ働き方研究所は、そう考えます。

第Ⅰ章 未活用労働指標

第Ⅱ章 スポットワーク求人倍率

第Ⅲ章 スポットワーク平均時給



概況 2025年5月度

スポットワーク求人倍率

前月差-0.35ポイント、
前年同月差+1.19ポイント。

↑ **2.65** 倍

新規ワーク数

63,401件。
前月比-11.3%、前年同月比-20.6%

↓ **6.3** 万件

追加就労希望就業者※2025年1-3月

前期（10-12月）差-2万人、
前年同期差+28万人。

↑ **204** 万人

地域別スポットワーク求人倍率

関東が2.94倍で、最も高い。

↑ **2.94** 倍
(関東エリア)

スポットワーク平均時給

前月差-11円、前年同月差+125円。

↑ **1,298** 円

アルバイト平均時給との比較

アルバイト平均時給は1,251円、
スポットワーク平均時給は1,298円。

+ **47** 円

職種別スポットワーク求人倍率

運送・ドライバーが、12.90倍で
最も高い（前年同月差+11.12ポイント）。

↑ **12.90** 倍
(運送・ドライバー)

主要職種別最高時給（※1）

最も時給が高いのは、倉庫内・軽作業。
前月から-27円、前年同月から+102円。

↑ **1,284** 円
(倉庫内・軽作業)

職種別時給比較

アルバイト平均時給と比較して、
最も時給格差が大きいのは倉庫内・軽作業。

+ **36** 円

矢印は対前年同月比

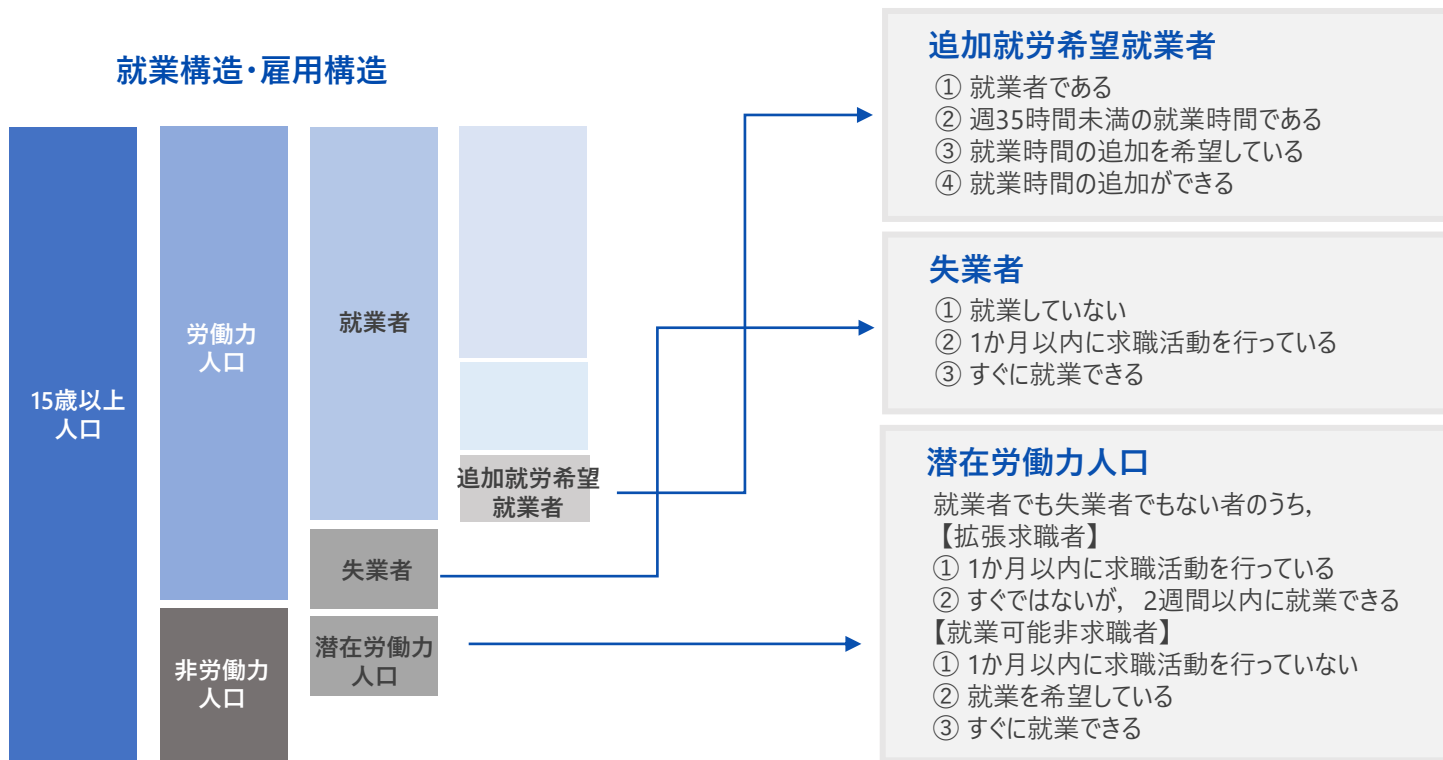
（※1）当研究所では求人数の規模が大きい倉庫内・軽作業、コンビニスタッフ、運送・ドライバーを主要職種として定義しています。





第 I 章 未活用労働指標

未活用労働指標の解説

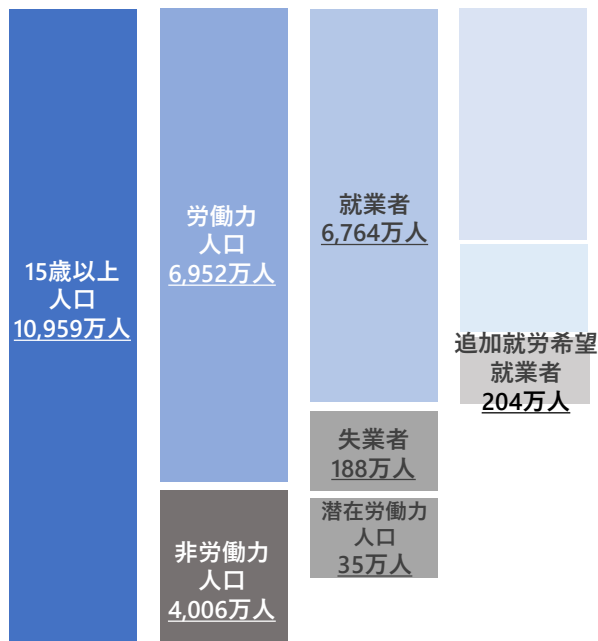


未活用労働指標/2025年1-3月

再掲

2025年1-3月の失業者は188万人、追加就労希望就業者204万人。

就業構造・雇用構造



未活用労働指標1 (LU1)

$$\frac{\text{失業者}}{\text{労働力人口}} = 2.7\%$$

未活用労働指標2 (LU2)

$$\frac{\text{失業者} + \text{追加就労希望就業者}}{\text{労働力人口}} = 5.6\%$$

未活用労働指標3 (LU3)

$$\frac{\text{失業者} + \text{潜在労働力人口}}{\text{労働力人口} + \text{潜在労働力人口}} = 3.2\%$$

未活用労働指標4 (LU4)

$$\frac{\text{失業者} + \text{追加就労希望就業者} + \text{潜在労働力人口}}{\text{労働力人口} + \text{潜在労働力人口}} = 6.1\%$$

追加就労希望就業者推移（季節調整値） / 2021年1月～2025年3月

再掲

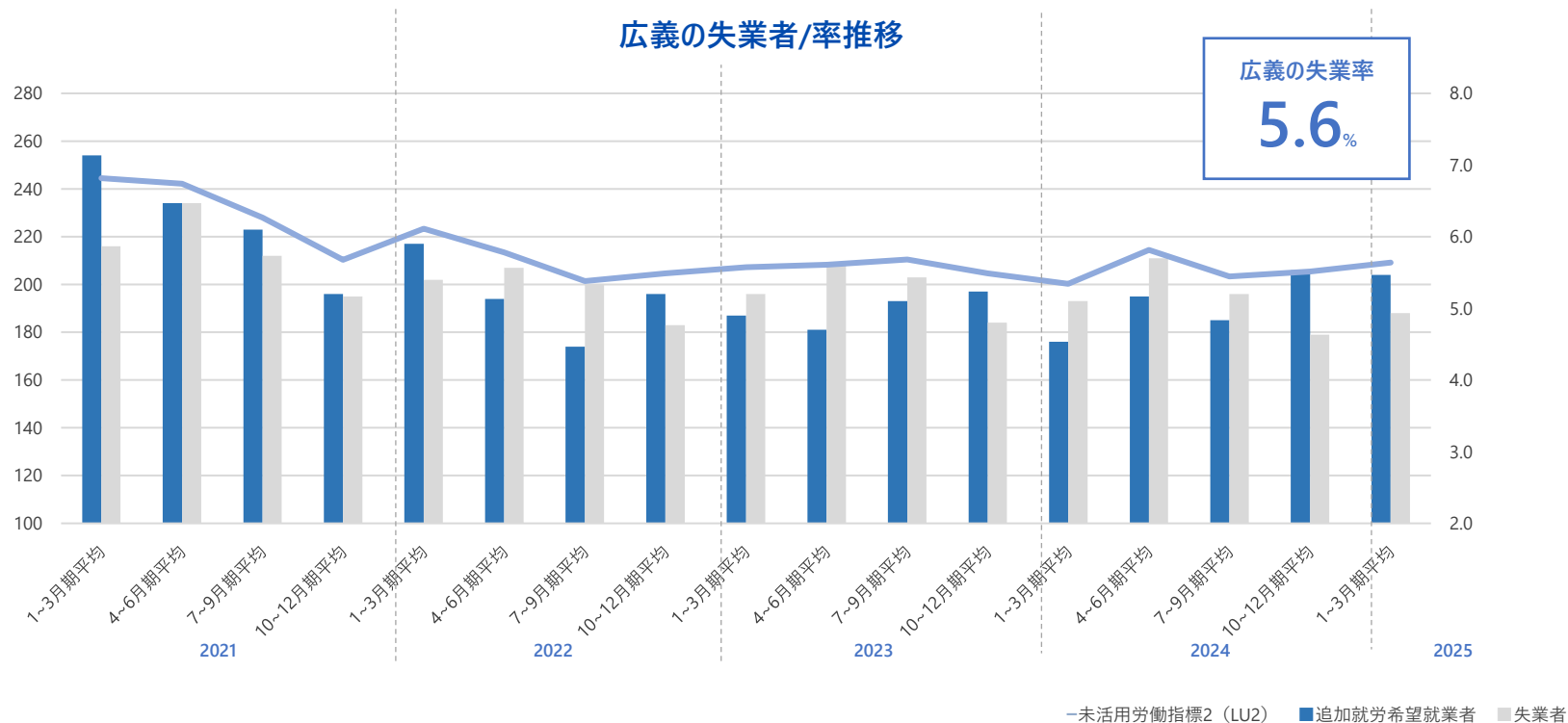
2025年1-3月期の追加就労希望就職者は前年同期（2024年1-3月期）より28万人増。



広義の失業者/失業率（季節調整値） /2021年1月～2025年3月

再掲

失業者と追加就労希望就業者を足した「広義の失業者」は392万人。LU2にあたる「広義の失業率」は5.6%。



出典：総務省統計局「労働力調査(詳細集計)」2025年(令和7年)1～3月期平均を加工

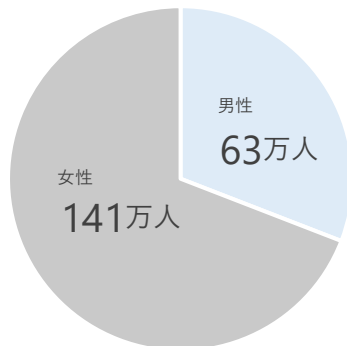


追加就労希望就業者 男女別×年齢階級別（季節調整値） /2025年1-3月

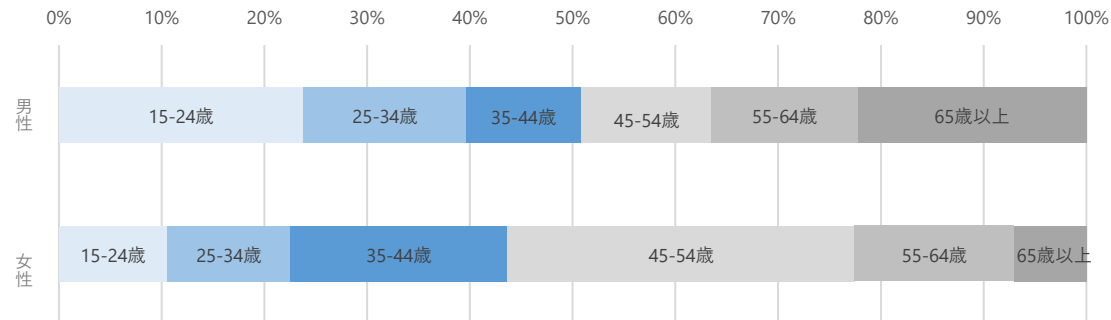
再掲

2025年1-3月期の追加就労希望就職者は男性63万人/女性141万人。2024年1月-3月期からの差は男性+8万人/女性+21万人。

男女別 実数



年齢別 割合



	総計	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上
男女計	204	30	27	37	55	31	24
男性	63	15	10	7	8	9	14
女性	141	15	17	30	48	22	10
前年同月比							
男女計	28	3	8	5	9	5	-1
男性	8	0	5	3	1	-1	0
女性	21	3	3	2	9	6	-1

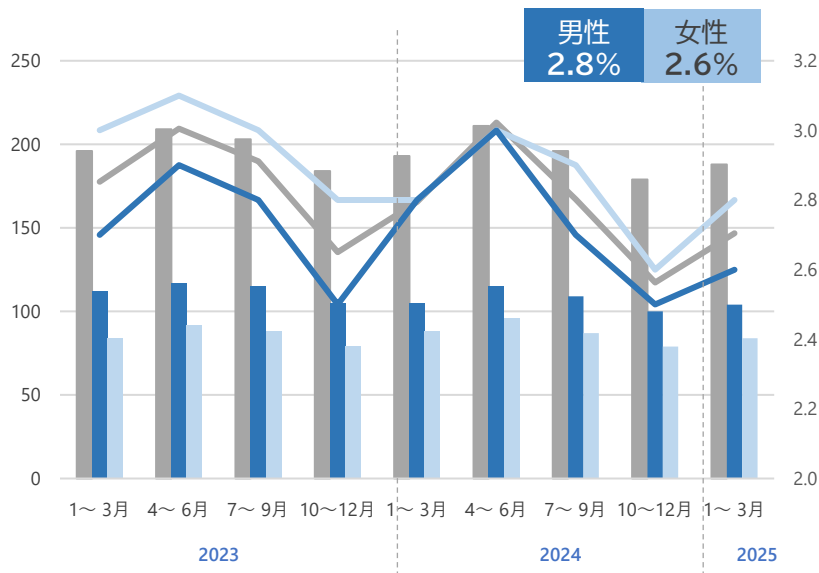
出典）総務省統計局「労働力調査(詳細集計)」2025年(令和7年)1～3月期平均を加工
<http://www.stat.go.jp/data/roudou/sokuhou/tsuki/>



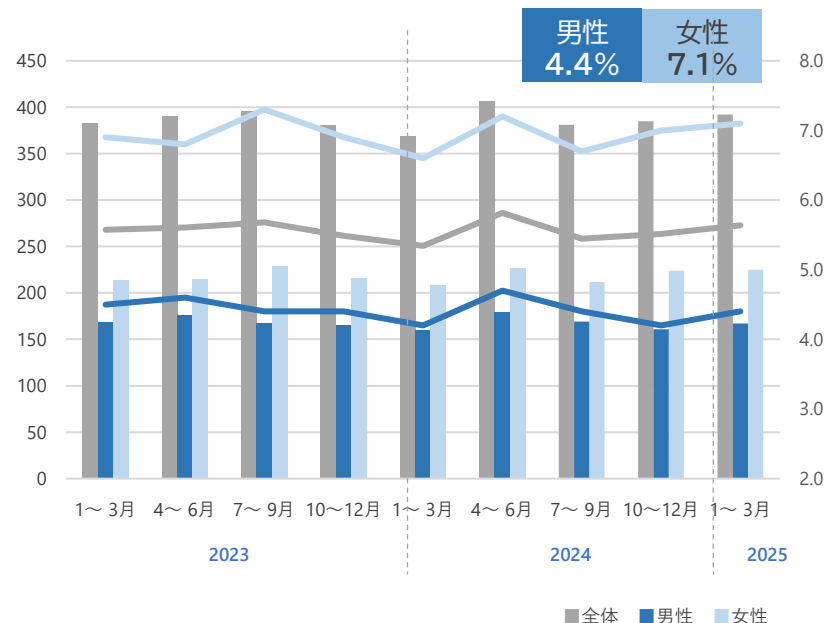
男女別未活用労働推移/2023年1月～2025年3月

未活用労働指標1（LU1）は男性2.8%/女性2.6%。未活用労働指標2（LU2）は男性4.4%/女性7.1%。

未活用労働指標1（LU1）



未活用労働指標2（LU2）

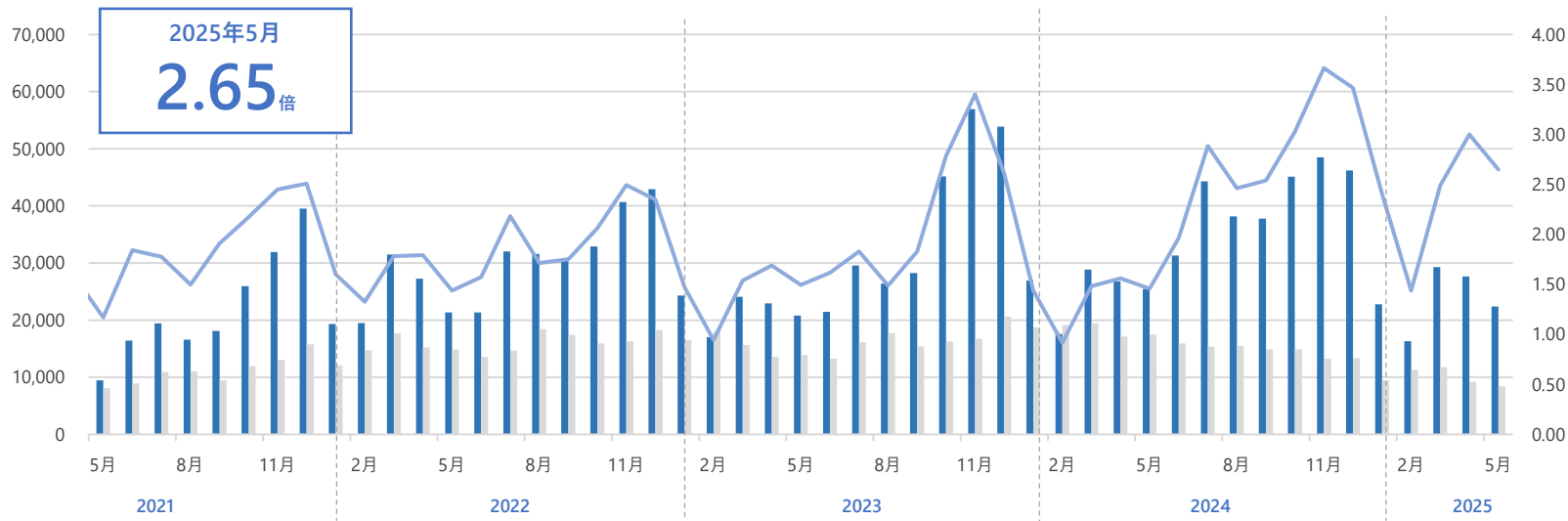


第Ⅱ章 スポットワーク求人倍率

スポットワーク求人倍率推移/2021年5月～2025年5月

2025年5月度のスポットワーク求人倍率は2.65倍（前月差-0.35ポイント、前年差+1.19ポイント）。

スポットワーク求人倍率推移



	当月		前月差	前年同月差	前月	前年同月	
—求人倍率	2.65	倍	-0.35	1.19	3.00	倍	1.46 倍
■求人数	22,383	件	-19.1%	-12.1%	27,651	件	25,464 件
■求職者数	8,445	人	-8.3%	-51.6%	9,211	人	17,466 人

出典：単発バイト求人サイト「ショットワークス」2021年5月～2025年5月データを加工
■求人数：ショットワークスにおける当月のワーク出稿数 ■求職者数：登録者の応募UU数



職種別スポットワーク求人倍率/2021年5月～2025年5月

運送・ドライバーが12.90倍と最も高く、前年からの伸び率でも運送・ドライバーが+11.12ポイントと最も伸長。

職種名	2021 5月	2022 5月	2023 5月	2024 5月	2025 5月	前年差
イベントスタッフ	0.71	0.79	1.17	0.61	0.66	0.05
飲食・フード	1.58	1.27	0.97	0.89	0.59	-0.30
倉庫内・軽作業	1.04	1.43	1.31	1.35	1.80	0.45
組立工	1.23	2.07	1.61	2.02	2.07	0.05
コンビニスタッフ	4.66	6.85	6.88	6.21	5.72	-0.49
キャンペーン・PR	4.63	8.91	6.55	10.50	5.10	-5.40
運送・ドライバー	2.54	2.93	6.27	1.78	12.90	11.12

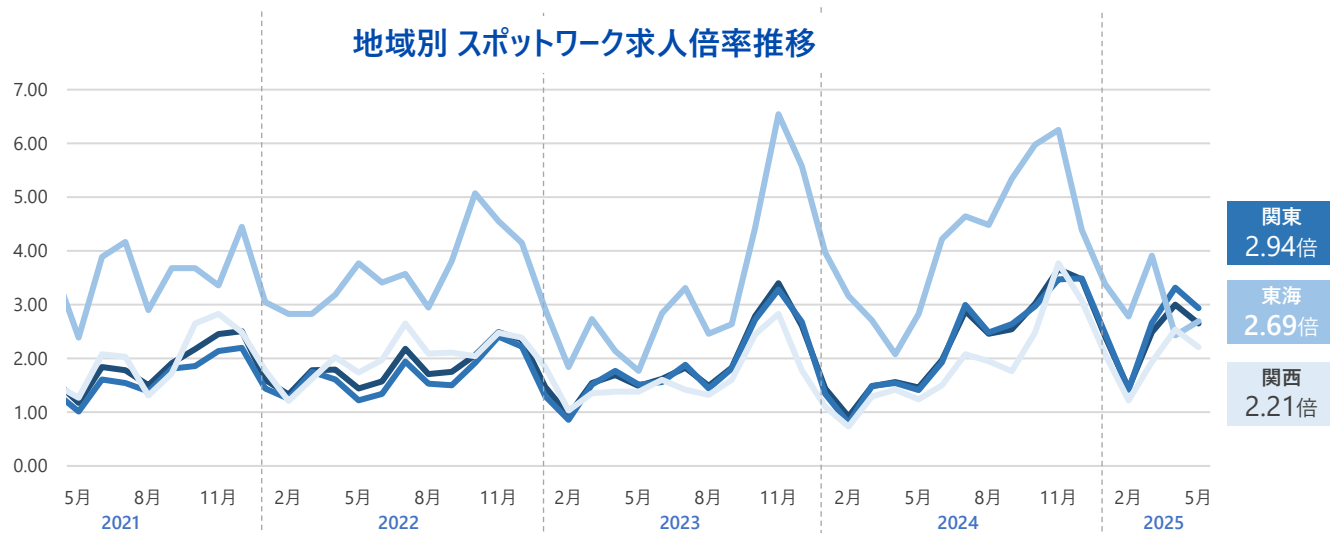
職種名	2024 5月	2024 6月	2024 7月	2024 8月	2024 9月	2024 10月	2024 11月	2024 12月	2025 1月	2025 2月	2025 3月	2025 4月	2025 5月	前月差
イベントスタッフ	0.61	0.74	1.26	0.99	1.19	1.55	2.17	1.52	0.83	0.46	0.65	0.54	0.66	0.12
飲食・フード	0.89	0.93	2.39	1.58	2.11	3.47	2.83	3.18	1.22	0.36	0.81	0.73	0.59	-0.14
倉庫内・軽作業	1.35	1.60	2.23	2.19	2.10	2.20	2.66	2.41	1.66	1.05	1.72	2.17	1.80	-0.37
組立工	2.02	1.58	1.63	1.20	1.27	2.05	2.46	3.23	1.29	0.93	1.51	1.87	2.07	0.20
コンビニスタッフ	6.21	6.04	6.76	6.05	5.90	6.16	6.07	6.84	5.88	4.70	5.79	6.29	5.72	-0.57
キャンペーン・PR	10.50	21.04	24.84	24.97	28.70	32.29	23.85	7.89	2.15	1.41	3.37	2.76	5.10	2.34
運送・ドライバー	1.78	3.85	10.41	7.09	9.26	10.53	16.14	24.77	6.95	2.39	7.53	11.17	12.90	1.72

出典：単発バイト求人サイト「ショットワークス」2021年5月～2025年5月データを加工
 ■求人数：ショットワークスにおける当月のワーク出稿数 ■求職者数：登録者の応募UU数



地域別 スポットワーク求人倍率推移/2021年5月～2025年5月

地域別 スポットワーク求人倍率は関東が2.94倍と最も高い。



	当月		前月差		前年同月差		前月		前年同月	
■全国	2.65	倍	-0.35		1.19		3.00	倍	1.46	倍
■関東	2.94	倍	-0.38		1.53		3.32	倍	1.41	倍
■東海	2.69	倍	0.26		-0.14		2.43	倍	2.83	倍
■関西	2.21	倍	-0.33		0.97		2.53	倍	1.24	倍

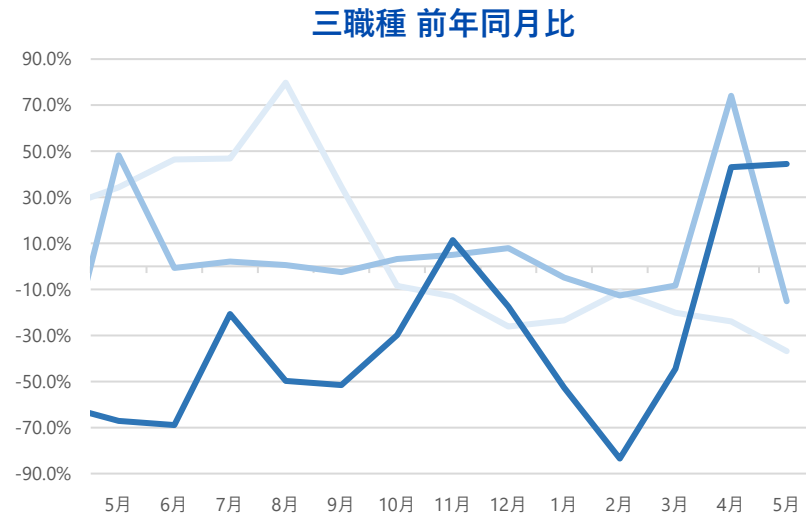
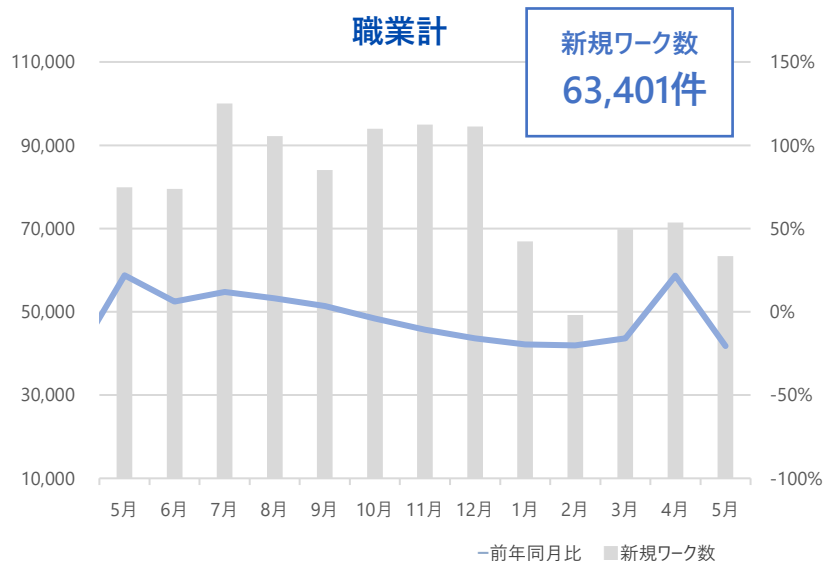
出典：単発バイト求人サイト「ショットワークス」2021年5月～2025年5月データを加工

■求人数：ショットワークスにおける当月のワーク出稿数 ■求職者数：登録者の応募UU数



主要職種別（※1）新規ワーク数・伸び率推移/2024年5月～2025年5月

新規ワーク数は63,401件（前月比-11.3%、前年同月比-20.6%）。4月度は7か月ぶりに前年同月比でプラスに転じたものの、再びマイナスに。



	当月	構成比	前月比	前月	前年同月比	前年同月
■職業計	63,401 件	100.0%	-11.3%	71,466 件	-20.6%	79,882 件
■倉庫内・軽作業	11,132 件	17.6%	-25.3%	14,898 件	-36.8%	17,620 件
■コンビニスタッフ	41,018 件	64.7%	-6.4%	43,814 件	-15.1%	48,321 件
■運送・ドライバー	5,881 件	9.3%	-17.6%	7,139 件	44.5%	4,071 件

出典：単発バイト求人サイト「ショットワークス」2024年5月～2025年5月データを加工

（※1）当研究所では求人数の規模が大きい倉庫内・軽作業、コンビニスタッフ、運送・ドライバーを主要職種として定義しています。

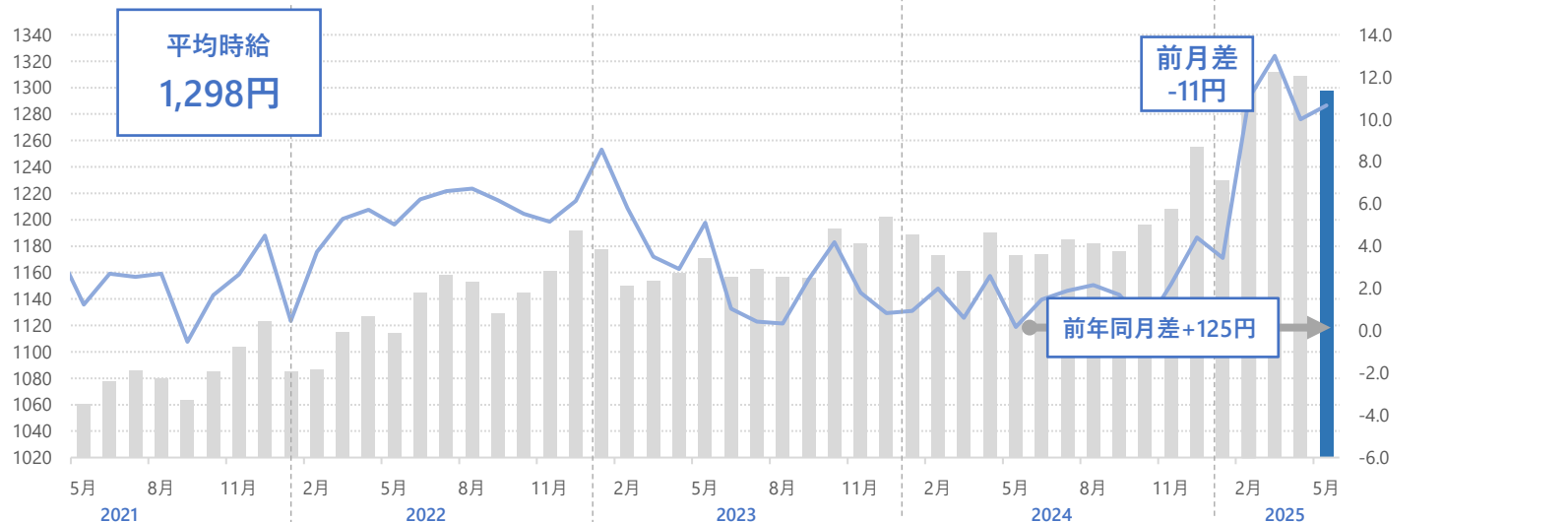


第Ⅲ章 スポットワーク平均時給

スポットワーク平均時給の推移/2021年5月～2025年5月

2025年5月度のスポットワーク平均時給は1,298円（前月差-11円、前年同月差+125円）。

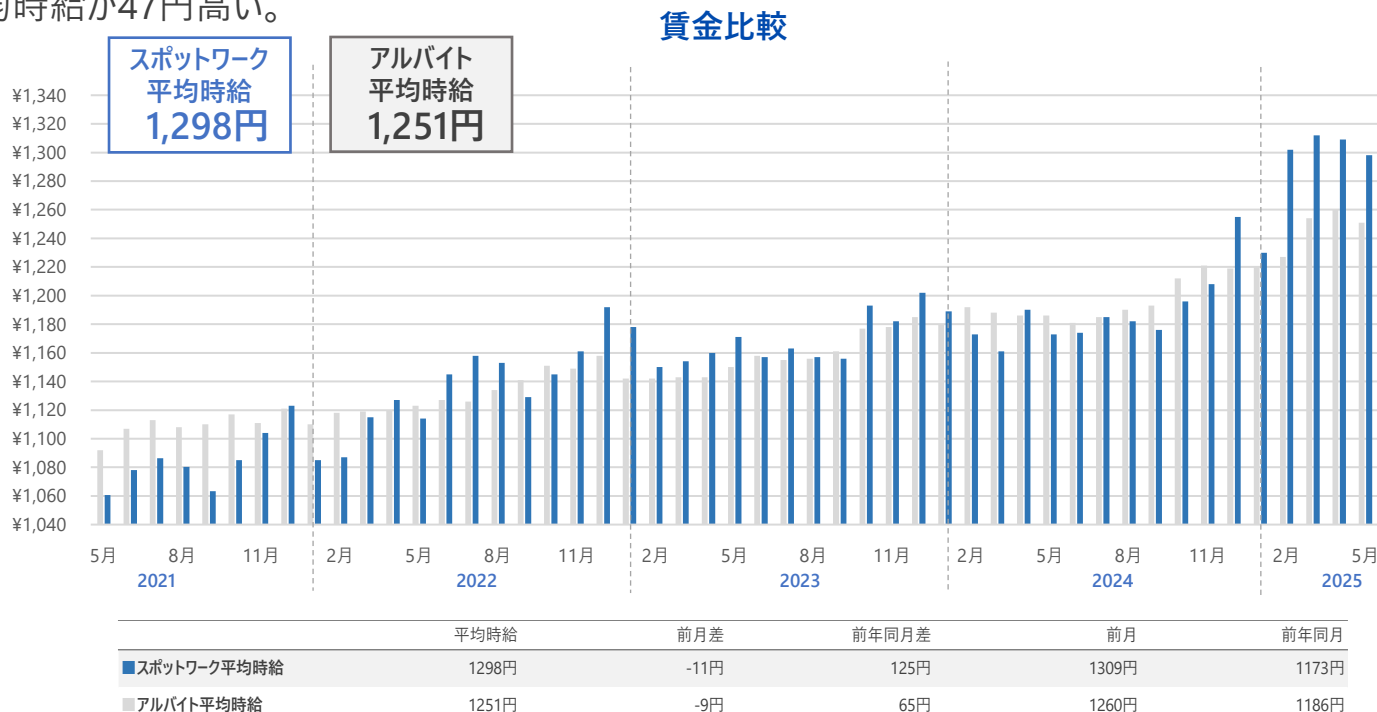
スポットワーク平均時給の推移



	平均時給	前月差	前年同月差	前月	前年同月
全国平均	1298円	-11円	125円	1309円	1173円
首都圏	1312円	-5円	103円	1317円	1209円
東海	1294円	11円	83円	1283円	1211円
関西	1268円	-32円	93円	1300円	1175円

スポットワーク・アルバイト時給比較/2021年5月～2025年5月

通常のアルバイト平均時給（※リクルート発表「アルバイト・パート募集時平均時給調査」）とスポット平均時給の比較ではスポット平均時給が47円高い。



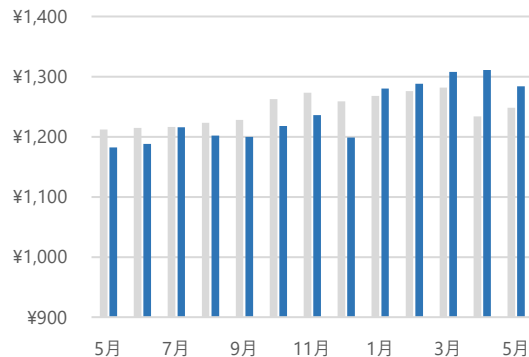
出典：単発バイト求人サイト「ショットワークス」平均時給2021年5月～2025年5月データ
リクルート「アルバイト・パート募集時平均時給調査」2021年5月～2025年5月を加工



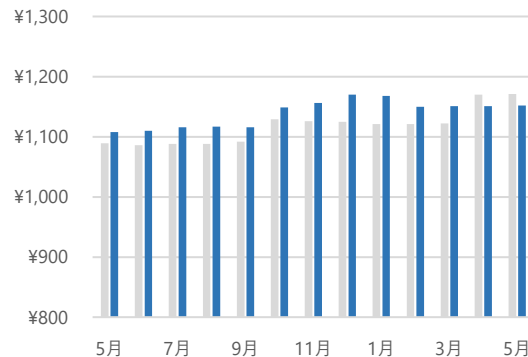
スポットワーク・アルバイト時給比較（主要職種（※1）） /2024年5月～2025年5月

スポットワーク平均時給で最も高いのは、1,284円の倉庫内・軽作業。アルバイト時給と比較して、最も時給格差が大きいのも倉庫内・軽作業でスポット時給が36円高い。

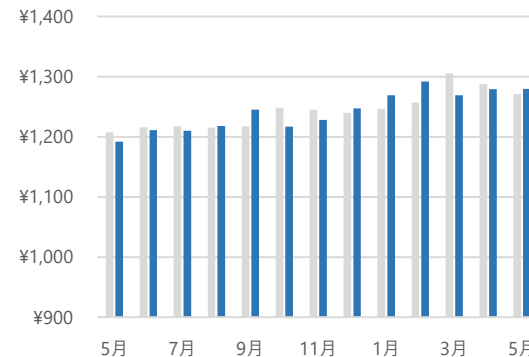
倉庫内・軽作業



コンビニスタッフ



運送・ドライバー



	スポットワーク平均時給	アルバイト平均時給
倉庫内・軽作業	1284円	1248円
コンビニスタッフ	1152円	1171円
運送・ドライバー	1280円	1271円

■ スポットワーク平均時給 ■ 通常アルバイト平均時給

出典：単発バイト求人サイト「ショットワークス」平均時給2024年5月～2025年5月データ

リクルート「アルバイト・パート募集時平均時給調査」2024年5月～2025年5月を加工

（※1）当研究所では求人数の規模が大きい倉庫内・軽作業、コンビニスタッフ、運送・ドライバーを主要職種として定義しています。

アルバイト賃金の「コンビニ」はリクルート「アルバイト・パート募集時平均時給調査」における「コンビニスタッフ」を適用

「運送・ドライバー」は「ドライバー・配送・デリバリー」「ドライバー（中型・大型・バス・タクシー）」の平均値を適用

「倉庫内・軽作業」は「物流作業」を適用



ディスクレーマー

本資料は、労働市場の調査研究・労務関連情報・政策提言について検討するための参考に資することを唯一の目的として作成、提出されたものであり、他の一切の目的のために作成されたものではありません。



